

活動報告

団体名	よか隊ネット熊本
活動名	「つながる広場」(みなし仮設避難者のための総合イベント事業)
活動期間	2016年12月～2018年3月
活動の成果	<p>私達は、「みなし仮設、在宅被災者」の「孤立」を大きな課題と捉え、被災者の方々の交流の機会を作ることを目的としたイベントを実施してきました。みなし仮設の方々は、地震後に家を探し、引っ越しをされたため、地域のつながりがあまり作れず、交流の場をなかなか持てていません。そんな中で、今回のイベントを通して、被災者同士の方が知り合ったり、地震前に住んでいた近所の方との再開の場になったりと、普段の生活ではなかなか話すことができなかつた、地震後の事、今の暮らしの事を話す時間を作ることができ、とても喜んで頂きました。具体的な生活再建に向けた支援とまでは難しくとも、こうやって少しでも交流の時間、話をする時間をつくることのできたのはとてもよかったと思います。</p> <p>また、熊本地震後に支援のために立ち上がった団体と連携してイベントを行うことで、団体同士の繋がりが強くなり、支援者と被災者という枠を超えた人と人とのつながりを多く作ることができました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>被災者が抱える「孤立」は熊本で今とても大きな問題となっています。「孤立」を防ぐために我々はなにができるのか？試行錯誤しながら活動しています。今回、頂いた寄付金を活用させて頂き、交流イベントを数回開催させて頂きました。頂いた寄付金は、イベント開催にあたっての備品代、食事代、飲み物代、保険代、シャトルバス代等に活用させて頂きました。特に派手な企画を入れることはせずに、ゆっくり食事をしながら、その場に参加して頂いた方々とゆっくりと会話してもらい、そんな時間をつくることを意識しました。参加者の方々にはそんな時間をとても喜んでいただきました。「このイベントをいつも楽しみにしている」「また参加したい」そんな声をたくさん頂きました。こういった時間をつくることができ、支援に心より感謝致します。</p>

(活動のようす)



